

科目名	地誌学					単位	2.0
担当教員	脊古 真哉						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	1412

●授業のテーマ

地表に刻まれた景観・風土の歴史の変遷

●到達目標

各種地図から、景観についての情報を読み取ることができること、歴史地理学の基礎的な知識を修得する。

●学習内容(授業概要)

地理学は読図に始まり、作図に終わると言われることがある。現在の地表に刻まれた自然現象・人文現象の集合体である景観は、歴史的な変遷を経て形成されてきたものである。本講義では、地形図をはじめとする地図に表された景観を読み解くことから、地域の特性、歴史的な状況を見ていきたい。地理学・地誌学の基本的な用語・概念の解説から、各種地図の世界を概説し、「読図」地図を読むことの基礎を学び、東海地方を主たる対象に、歴史的に形成された景観・風土の特色について述べる。適宜、スライドやビデオテープを活用して受講者の理解の補助とする。

●学習内容(授業計画)

1. 開講にあたってー授業の進め方、成績評価、単位認定などについてー
2. 地図の世界
3. 地名を探る(1)ー古代・中世の地名ー
4. 地名を探る(2)ー近世・近代の地名ー
5. 地理研究と歴史研究(1)ー時間軸と空間軸ー
6. 地理研究と歴史研究(2)ー歴史的景観の変遷ー
7. 集落と都市
8. 都市と国家
9. 古代都市と交通路(1)ー藤原京・平城京の時代ー
10. 古代都市と交通路(2)ー平安京の時代ー
11. 東海地方の歴史的風土
12. 地域文化の特性(1)ー東と西のはざまでー
13. 地域文化の特性(2)ー民俗宗教の諸相ー
14. 歴史的景観と現在
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

準備学習として、前回の授業の内容の確認をすること。  
事後学習として、配布資料の再読・確認を実施すること。

●成績評価方法・基準

学期末試験 70%、平常点 30%

●テキスト(必携)

適宜資料を配布する。

●参考文献/その他

講義中に適宜指示し、資料を配布する。

●履修上の注意

積極的な受講態度を望みたい。